

兵庫県議会議員

2020年
(令和2年) 9月発行

発行：原テツアキ事務所

〒656-1711 淡路市富島1975

☎ 0799-82-1255

☎ 0799-82-1522

✉ office@hara-tetsuaki.com

HP 原テツアキ 検索

原テツアキ

県政報告



第123代 兵庫県議会 議長に就任！

令和2年6月に開かれた第349回定例県議会の最終日に、**第123代兵庫県議会議長に選任されました。**旧津名郡では新田氏以来50年ぶり、淡路島では洲本市の石田氏以来25年ぶり、県政史上（1879年以降）で島内選出5人目の議長となります。

議長選挙の候補になるには、まず自民党県議団内での選挙がありますが、4期以上で幹事長または政調会長経験者という条件のもと、今回は皆さまが辞退され、無投票で議長候補に選ばれました。しこりが残らなかったことが何よりもうれしく、その分、**責任の重さを痛感するとともに、微力ながら兵庫県政のさらなる発展に全力で取り組んでいく所存です。**

今年は本県にとって、阪神・淡路大震災から25年という大きな節目の年です。これを念頭に地域の県民ニーズを政策や予算に反映させ、コロナ禍の影響が続く中でも、感染症の拡大防止や地域経済・雇用の力強い復興に全力で取り組んでまいります。

感謝の意と県政報告を兼ねて皆さまにお集まりいただき、直接ご報告したいところですが、コロナ禍が落ち着くまで見合わせることにいたします。



昨年9月の第345回定例県議会で一般質問に登壇。ICT（情報通信技術）を活用した行政手続きの効率化など下記のとおり計5項目をテーマに県当局に政策を提案しました。

1 行革後の行政事務の効率化について

- (1) ICT（情報通信技術）の活用による行政手続きの効率化を
- (2) 収入未済金の回収業務の一元管理が必要

2 長期保有土地の有効利用について

3 食の専門職大学を核としたグルメの街による地域活性化

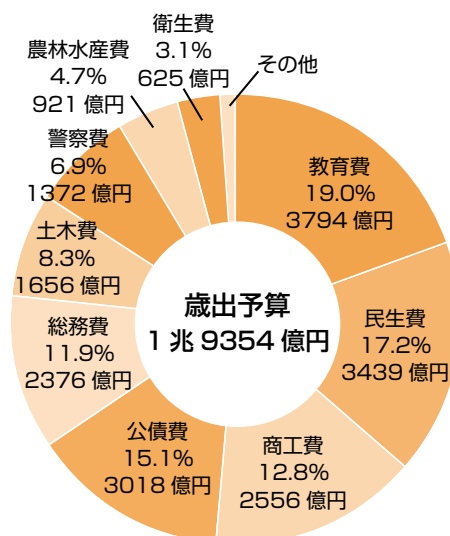
4 兵庫の農業・漁業の躍進に向けた取り組み

第345回
定例県議会
一般質問に登壇

令和2年度“新兵庫挑戦予算”を可決

第347回定例県議会在2月18日から37日間にわたって開かれ、“新兵庫挑戦予算”と銘打った総額3兆9549億円にのぼる令和2年度県当初予算などを可決し、将来課題を見据えた対応策や地域活性化に取り組むことを決めました。

新年度予算の一般会計は1兆9956億円で、対前年度比で602億円を上回りました。歳入の県税等は企業業績の悪化を反映して法人関係税は108億円減になり、消費税・地方消費税率の引き上げによる増収分を除くと、前年度比117億円減の8131億円に。この結果、新行財政運営方針の財政フレームを見直すことになりました。歳出の概要は右表の通りで、淡路市内の主な県土整備事業を下記に紹介します。



令和2年度【県土整備淡路市内主要事業実施箇所】

事業種別	工事箇所		概要	備考
	名称	箇所		
防災・安全交付金 長寿化対策支援事業 社会資本整備総合交付金	淡路佐野運動公園	佐野新島	受変電設備更新 1 式 第3サッカー場 人工芝更新	R 1～2
	(一) 佐野仁井岩屋線	中持	交差点改良 (全体計画 W=5.5(8.5)m) 用地買収、工事	H 30～R 2
防災・安全社会資本整備交付金 (通学路の安全確保)	(主) 福良江井岩屋線	水越	歩道整備事業 (全体計画 L=410m, W=6.0(11.0)m) 用地買収、物件補償	H 28～R 4
防災・安全社会資本整備交付金 (通学路の安全確保)	(主) 志筑郡家線	中田	歩道整備事業 (全体計画 L=1440m, W=6.0(12.0)m) 用地測量	H 25～R 4
防災・安全社会資本整備交付金 (通学路の安全確保)	(主) 志筑郡家線	多賀	歩道整備事業 (全体計画 L=240m, W=6.0(11.0)m) 用地買収、物件補償	H 28～R 4
防災・安全社会資本整備交付金 (通学路の安全確保)	(主) 大谷鮎原神代線	大町畑ほか	歩道整備等 用地測量、用地買収	R 1～2
防災・安全社会資本整備交付金 (通常)	(主) 福良江井岩屋線	深草～岩屋	自転車通行空間整備事業 路肩拡幅(計画・設計委託、工事)	R 1～
社会資本整備総合交付金	(主) 福良江井岩屋線	岩屋	道の駅リニューアル事業 リニューアル工事	R 1～
砂防緊急自然災害防止対策事業 (急傾斜)	鵜崎	鵜崎	全体 L=80m 法枠工。工事着手	R 1～2

県議会・新議長プロフィール

第123代議長
原 テツアキ氏



ウィズ・コロナの時代に、県議会の舵取りを担う。「小康状態が続くが、第二、第三波を前に医療・検査体制の強化が求められる」と備えの重要性を強調。「一次産業への手厚い支援も大切。議会と行政が両輪となつて、より良いポストコロナ社会を創つていかねば」と気負いなく抱負を語る。

議員の本領が問われるとき

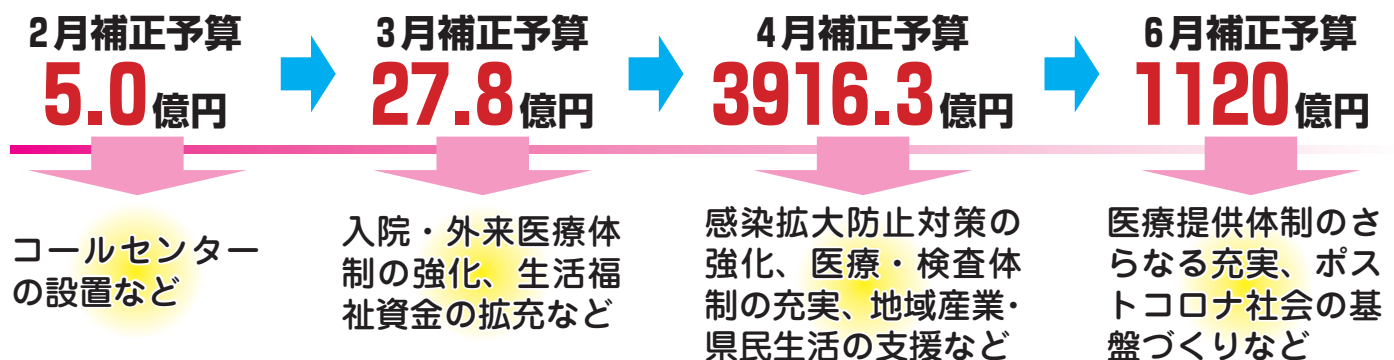
さらに政府の対応には、「ロックダウンのよう

また、県財政について「疲弊した経済はすぐに元に戻らない。いまの行革は見直しが必要だ」と見解。「今後の地域経済はさまざまな想定が必要だが、各界各層の一人ひとりが努力を惜しまず、自分ができることを全うすれば立ち直りは早いはず」と展望し、新しい時代への曙光を見出した。

兵庫ジャーナル 2020年7月6日掲載

※兵庫県議会では、新型コロナ対策は知事の専決処分によることなく、すべて議会を開催して議案審議しています

新型コロナ対策 補正予算を段階的導入



2、3月補正の主な成果

自宅療養者ゼロを堅持

円滑な入院調整と宿泊療養を実施

迅速なPCR検査体制

マスクなど医療資材の安定確保

4月以降の主な対応

入院医療体制の強化

医療機関等の検査機能の充実

感染患者入院医療費の公費負担

資金繰り、地域産業支援

観光、農林水産業の活性対策

7月補正予算

473 億円

感染拡大期の想定上限を引き上げ、医療従事者等の慰労金給付など



▲2019年3月29日、兵庫県議選が告示され、無投票で4期目の当選を果たしました。初心忘れず、今期も全力投球します!!



▲公私にわたり、ご指導いただいている山東昭子参議院議長に要望活動



▲淡路北スマートインターが開通しました。全国で一番目として、淡路ハイウェイオアシスに直結し、かつ淡路インターチェンジの渋滞緩和に寄与するもので、私や門市長、県幹部が西村先生にお願いして国交省に陳情したことが思い出されます

原テツアキ 走り続けます 淡路のために!

兵庫県花き協会会長および兵庫県果樹研究会会長として、第27回県花き生産者大会であいつ。新型コロナウイルスで打撃を受けた生産者を救済するため、県の令和2年度補正予算に各種の支援施策を盛り込んだことを説明しました



▲原家の墓前で西村やすとし衆議院議員が経済再生担当大臣等に就任したことを報告



あわじ花さじきを県立公園へ。土地を地権者から譲ってもらい、レストランと展望台を整備

▶第123代兵庫県議会議員に就任。テレビの収録や新聞のインタビューなどに応じました



県連大会に代わる総務会



自民党の県連大会に代わる総務会で、党県連財務委員長として決算など報告



▲淡路陸上競技選手権大会で同競技協会会長として挨拶。選手は3密を避けテント前で起立



議員報酬等から

約1億円を供出

期末手当など15%カット



兵庫県議会は新型コロナウイルス対策の協力として、すべての議員を対象に6月に支給される期末手当を15%、7月から来年3月までの9カ月間の政務活動費を15%カットし、これに議会運営費を上乗せした総額約1億円をねん出して県に供出しました。今後県民の命と生活を守るため全力で活動します。